

《これからの課題》

- ◎言葉足らずにならないように、きちんと会話(気持ちを込めて)対応できるように頑張りたいと思います。
 - ・分かるだろうではなく、分からないはずだという気持ちで、分かりやすい言葉を考えて話をする。
 - ・担任間同士で、言葉遣いの良い点を認め合い、言葉の引き出しを増やしていく。
 - ・否定的な言葉→「どうしたらいい?」「こうしよう」という肯定的提案などの言葉に置き換え、「だめ!」という赤信号を、「こうしよう」という青信号に書き換える。
 - ・公共道徳や危険なことは短くわかりやすく伝える。

- ◎子どもたちの興味に寄り添ったつもりだが、個々の成長に合わせたものだったか、もう一度子どもたちを観察して、環境なども直していきます。
 - ・誰かの興味があることを行いながら周りの友だちも巻き込んで、年齢より下でも上でも興味を持って楽しむことを大切にしたい。
 - ・子どもの成長にあった玩具、遊びを話し合うと良い。
 - ・決まった遊び方だけでなく、子どもの「こうしたい」をキャッチし柔軟に対応できる心の余裕。

- ◎不適切保育について、今一度しっかり確認する機会(全体で、クラス内で)を設けて、全員で意識の統一が必要なのではないかと思います。
 - ・確認する機会を設けることや、不適切保育と思えることがあったら、その場で本人に伝えたり、後から不適切と思えることについて話し合う。
 - ・プラスの言葉で誘導していく事を心掛けていくが、危険な事には「いけません」は必要。
 - ・「早く」ではなく「みんな待ってるよ～」など肯定的な言葉にする。

- ◎保育園での様子を具体的に伝え、保護者の不安や相談に丁寧に向き合っていきたいと思います。
 - ・保護者とのコミュニケーションを大切にし、話がある時は時間を設けて懇談する。
 - ・以上児は連絡帳がなくなった分、お迎え時の短い時間で分かりやすく正しく伝える。

- ◎室内で遊ぶ時間はあまりないが、廃材を置いておけるスペースがあると工夫あそびを楽しめて良いと思った。
 - ・廃材が危険に繋がる事もあるので、未満児クラスは置いておけないが、チラシや空き箱など、遊ぶ時に準備をし大人と一緒に楽しんでいく。
 - ・以上児も数を決めてセレクトし限られた中で工夫をして作る経験も必要。時には使い放題にして、メリハリをつけるなど楽しめる工夫をしたい。
 - ・指先を使う、折り紙にも興味を持ってもらいたい。(広告を正方形にし、棒などを作る紙とは別に置く)
 - ・クラスや状況に合わせて道具を出し、楽しく安全に遊べるようにする。(ハサミなどの管理に気を付ける)

◎自分に余裕がないと、「いや」という思いや伝わらない時に、つい強く言ってしまったたり、思いを受け止めることが出来ないことがあります反省です。

- ・大人も見通しを持っていき、多少の時間の遅れは気にせず、気持ちに余裕を持ち進めていく。
- ・子どもの拘束時間を短くし、自由あそびを十分に作ってあげたい。
- ・深呼吸を少し時間を置き、どんな時も親の気持ちになってみる。
- ・クラス会議、全体会議などで、一人ひとりの共通理解を深め、フォローし合っていく。

◎絵本や手遊びが好きな子が多く、もっと楽しめるよう、多様性を深めていきたいです。

- ・色々な先生の楽しい手遊びや絵本を互いに教え合い、わらべうた・手遊び等、日々の隙間時間（寝る前、食事、待ち時間など）で取り入れていく。
- ・絵本はクラスで毎日2～3冊は取り入れていき、個々でもゆったり読んでいく。
- ・絵本の入れ替えは季節ごとに行っていく。また、何が好みなのか日々観察していき、好みなのであれば季節問わず置いておくのもいいと思う。

◎自然の中での遊びや、続環境作りを大切にしていきたい。

- ・あそびが途中の時は、片付けの時間を待つことも大切。
- ・楽しみが次の日に向かうような保育を行い「まだ、続きをやりたい！」という子どもの気持ちを大切にしたい。

◎楽器に触れる機会が少なかった。リズムあそびを充実させたい。

- ・小さい子は手作り楽器で楽しみたい。
- ・楽器だけにこだわらず、手作り楽器等様々なリズム・音の体験もいいのではと思う。
- ・簡単なリズムで日常的に触れる機会を増やす。

◎玩具の入れ替えも行っているが、全部置いておけると嬉しい。

- ・全部置くのは難しいのでは。
- ・知育玩具は発達段階に応じて出す方がいいのではないか。危険でないものは出しても良いと思う。
- ・レベルに合わせての玩具の入れ替えが必要。
- ・子どもが遊びたいと思える環境づくり。（スペースごとに遊びを変える）